



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社

コード番号 6356 URL <http://www.nippon-gear.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺田 治夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 林 秀樹

TEL 0466-45-2100

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,550	2.4	717	33.0	726	34.9	487	35.2
28年3月期第3四半期	6,396	△2.6	539	15.3	538	14.4	360	19.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	34.38	34.37
28年3月期第3四半期	25.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	10,585	7,293	68.9	513.95
28年3月期	10,361	6,840	66.0	482.02

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 7,291百万円 28年3月期 6,840百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
29年3月期	—	3.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成29年3月期の業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	0.8	710	△0.9	710	0.5	490	3.8	34.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	14,280,000株	28年3月期	14,280,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	89,644株	28年3月期	89,344株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	14,190,511株	28年3月期3Q	14,191,622株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社のセグメント別受注状況は、歯車及び歯車装置事業ではジャッキは減少いたしました。バルブ・コントロール及びその他増減速機が増加したことにより受注は増加いたしました。歯車につきましては、その他産業機械用が増加したことにより受注は増加いたしました。これらにより、歯車及び歯車装置事業では受注は増加いたしました。工事業では、火力発電所向けが減少により受注は減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は65億48百万円（前年同期比5.2%増）、売上高は65億50百万円（前年同期比2.4%増）となりました。一方、当第3四半期会計期間末の受注残高は33億15百万円（前期末比0.1%減）となりました。

損益面につきましては、原価低減、経費削減に努めた結果、営業利益は7億17百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益は7億26百万円（前年同期比34.9%増）、四半期純利益は4億87百万円（前年同期比35.2%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業につきましては、バルブ・コントロールの受注高は、輸出、上下水道、石油向けが減少したものの、火力発電所、原子力発電所、鉄鋼向け、補修用部品が増加したことにより、前年同期比11.7%増加いたしました。売上高は、原子力発電所、輸出、上下水道、船舶向けが減少したものの、火力発電所、石油、鉄鋼向け、補修用部品が増加したことにより、前年同期比10.1%増加いたしました。ジャッキにつきましては受注高は前年同期比3.4%減少し、売上高も前年同期比5.1%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比19.1%増加し、売上高も前年同期比3.8%増加いたしました。歯車の受注高は、自動車用、建設機械用が減少したものの、鉄道・船舶用、その他産業機械用が増加したことにより、前年同期比1.1%増加いたしました。売上高は、自動車用、建設機械用、鉄道・船舶用、その他産業機械用が落ち込み、前年同期比21.5%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比8.8%増加し、売上高も1.9%増加いたしました。

工事業につきましては、受注高は原子力発電所、石油・化学、上下水道向けが増加したものの、火力発電所向けが減少したことにより、前年同期比2.3%減少いたしました。売上高は、火力発電所向けが減少したものの、原子力発電所、石油・化学、上下水道向けが増加したことにより、前年同期比3.6%増加いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ1億80百万円増加し79億円となりました。これは主に売上債権が79百万円減少いたしました。現金及び預金が35百万円、たな卸資産が1億93百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ43百万円増加し、26億85百万円となりました。これは主に有形固定資産が1億37百万円、無形固定資産が13百万円減少いたしました。投資有価証券が86百万円、前払年金費用が1億19百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ30百万円減少し、26億7百万円となりました。これは主に仕入債務が2億35百万円増加いたしました。賞与引当金が1億74百万円、未払法人税等が71百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ1億97百万円減少し、6億85百万円となりました。これは主に長期借入金1億61百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ4億52百万円増加し、72億93百万円となりました。これは主に利益剰余金が4億2百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の営業利益及び経常利益の実績値が通期業績予想値を上回っておりますが、平成29年3月期通期の業績予想につきましては、当社を取り巻く経済環境が厳しい状況にあるため、受注、売上の動向が不透明であり、利益を合理的に算定することが困難な状況であります。従いまして、平成28年10月31日に公表いたしました数値からの変更はありません。今後、利益予想が可能となった時点で、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に対する影響額は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,657,751	2,693,408
受取手形及び売掛金	2,915,724	2,835,919
商品及び製品	121,347	139,924
仕掛品	527,773	563,850
原材料及び貯蔵品	1,225,801	1,365,107
その他	271,801	302,026
流動資産合計	7,720,200	7,900,237
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	936,326	798,877
有形固定資産合計	1,949,617	1,812,168
無形固定資産		
	107,271	94,221
投資その他の資産		
投資有価証券	441,977	528,642
前払年金費用	80,461	200,287
その他	67,219	55,200
貸倒引当金	△5,200	△5,200
投資その他の資産合計	584,458	778,930
固定資産合計	2,641,347	2,685,320
資産合計	10,361,547	10,585,557
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,465,852	1,701,662
1年内償還予定の社債	40,000	-
1年内返済予定の長期借入金	221,600	221,600
未払法人税等	194,960	123,089
賞与引当金	311,075	136,529
その他	404,469	424,153
流動負債合計	2,637,958	2,607,035
固定負債		
長期借入金	435,600	274,400
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	185,219	182,702
その他	239,068	204,809
固定負債合計	883,428	685,453
負債合計	3,521,387	3,292,488

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	4,517,270	4,920,006
自己株式	△32,817	△32,912
株主資本合計	6,721,601	7,124,242
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	118,559	167,297
評価・換算差額等合計	118,559	167,297
新株予約権	—	1,528
純資産合計	6,840,160	7,293,068
負債純資産合計	10,361,547	10,585,557

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,396,059	6,550,284
売上原価	4,450,311	4,391,775
売上総利益	1,945,748	2,158,509
販売費及び一般管理費	1,406,229	1,440,843
営業利益	539,518	717,665
営業外収益		
受取利息	132	13
受取配当金	11,744	11,539
その他	4,703	11,209
営業外収益合計	16,581	22,761
営業外費用		
支払利息	16,206	12,176
その他	1,370	1,854
営業外費用合計	17,576	14,031
経常利益	538,523	726,396
特別利益		
受取補償金	7,522	-
特別利益合計	7,522	-
税引前四半期純利益	546,045	726,396
法人税等	185,111	238,516
四半期純利益	360,934	487,880

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	4,440,021	1,956,037	6,396,059
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,440,021	1,956,037	6,396,059
セグメント利益	54,415	485,103	539,518

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1)外部顧客への売上高	4,524,190	2,026,094	6,550,284
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	4,524,190	2,026,094	6,550,284
セグメント利益	102,718	614,947	717,665

(注) セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

「会計方針の変更」に記載のとおり、第1四半期会計期間に「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」を適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期累計期間のセグメント利益に対する影響額は軽微であります。